

大会に向けた思い

### 私が出場した中で一番の大会

競技参加者

根岸 恵美さん(瀬戸内市)



#### トライアスロンがきっかけ

私が自転車競技を始めたきっかけは「トライアスロン」でした。小学2年生から始め、父と二人三脚で取り組んできました。高校に入学してからは自転車競技に専念し、3年連続でインターハイに出場することができました。高校卒業後も自転車競技を続け、1年間で約10大会に出場していました。



競技中の根岸さん

2年前に知人の紹介でヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会のことを知り、初めて出場しました。実際に走ってみると、パレードコースからの声援が多く、笑顔でスタート地点まで向かうことができ、高梁の人の温かさを感じました。また、大会メイン会場やゴール地点でのおもてなしが充実しており、この大会は私が出場した中で一番の大会だと思っています。私の友人たちからも「出場したい」という声をよく聞きます。今年は父と一緒に大会に出場する予定ですが、この大会が日本中に広まることで、より多くの皆さんが参加できる大会となるように願っています。

実は高梁市には自転車のイベントでしか行ったことがありません。今度行くときは吹屋ふるさと村などの観光地をゆっくり歩いてみたいと思います。

#### 沿道の応援が魅力的

### 沿道に花を咲かせています

花人の会 会長

藤本 晃宏さん(宇治町宇治)



#### きれいなコースを走ってもらおう

宇治地域は計測コース(ショートコース)のゴール地点となっています。毎年7月に行っているフラワーロード(宇治町遠原)の花壇への花植えとごみ拾いを、今年も7月14日に行いました。花壇に植える花の苗は、地域の皆さんが自分たちで作っています。この活動は大会開催前から行われていますが、きれいなコースを選手に走ってほしいという思いから、子どもから大人まで多くの皆さんが参加

しています。大会前の9月には再度、花壇の整備とごみ拾いを行う予定です。

#### 来年も来てもらえるように

大会当日は沿道での応援に加え、ショートコースゴール地点でのおもてなしを行っています。選手からは、「花がきれい良かった」「コースがきれい」などといった声を聞きます。地域が一丸となって取り組むことができ、選手と交流できるこの大会は、地域活性化につながるイベントの1つではないでしょうか。

来年の大会にも来ていただけるように、宇治地域ならではの取り組みを今後も続けていきたいと思っています。



フラワーロードの花植え

### 最終ゴール地点「吹屋」でのおもてなし

高梁市成羽町観光協会吹屋支部 支部長

加藤 典男さん(成羽町中野)



#### サイクリストが滞在する場所

大会のフルコースゴール地点であることから、練習に訪れた多くのサイクリストの皆さんが吹屋地区で休憩や食事をされています。私たちもサイクリストが休めるようにと、下町駐車場にある消防器庫横に涼むことができるテントを設置しています。また、県内外から訪れたサイクリストと顔なじみになることで、交流を深めることができます。



おもてなしの様子

#### 私たちの取り組みを引き継ぐ

大会当日は吹屋の町並みでの応援に加え、おもてなし会場で豚汁を振る舞っています。約2000食を用意しますが、毎年一杯も残りません。選手の皆さんからも好評をいただいております。喜んで下山されます。その姿を毎回見ることができ、大変うれしく思っています。このような取り組みを続けていくなかで、地域の皆さんも大会に興味を持つようになってきています。

選手が走りやすいようにコースの清掃などを行いながら、吹屋地区に滞在していただけるような取り組みも続けていく予定です。また、今後も大会が続くように、おもてなし会場などを手伝ってくれている若い人や吹屋地区以外の人にも私たちの取り組みを引き継いでいきたいと思えます。

大会に向けた思い

### 年間を通してサイクリストを応援

高倉町ふれ愛サロン「かじむら」代表

山川 一郎さん(高倉町田井)



#### 1年間を通して交流を

パレードコース最終地点で計測コーススタート地点となる高倉地域では、「1年間を通して大会への活動」を目的に、花壇の花植え、応援手旗や横断幕の作製を行っています。この活動には、ふれ愛サロンや老人クラブ、地域の皆さんが積極的に取り組んでいます。また、駐車場やトイレがある高倉地域市民センターには休日になると多くのサイクリストが訪れるため、皆さんを出迎えておもてな

しをすることで交流を深めています。この活動がきっかけで、平成30年7月豪雨災害時にはサイクリストがボランティアとして高倉地域へ手伝いに来てくれました。

#### サイクリストとの交流を続ける

大会当日は、作製した応援手旗や横断幕で選手の皆さんを応援しています。競技中は高倉地域市民センターに設置した「おもてなしカフェ」で選手の帰りを待ち、お見送りをします。パレードコースを楽しそうに笑顔で走る選手の姿を見て、「この大会のために1年間活動を続けてよかった」と感じています。

市民とサイクリストが一緒に楽しむことができるこの大会が今後も続くように、大会だけでなく年間を通してサイクリストの受け入れや交流を行いながら、これからも活動を続けていきたいと思っています。



花植えの準備